

笹原 右京

コース：Valencia Circuit

2011,12,15

### 初めてのフォーミュラ体験記

まず、今回フォーミュラアバルトのテストのために、様々なかたちで協力をしてくださった皆様にお礼を述べたいと思います。本当にありがとうございました。

自分の人生の中でとてもメモリアルな一日になりました。

感謝の気持ちでいっぱいです。

12月13日

夜明けと同時くらいに羽田を発った。

そこからまず韓国（ソウル）に行き、フランス（パリ）、スペイン（バレンシア）の順のフライトだった。

飛行機会社がそれぞれ違うため、乗り換えの時間が短いのにチェックインなど忙しく、けっこう慌ただしかった。

現地で13日の夜バレンシアに着いたら、迎えにきてくれるはずのMr.Darioが見当たらない。電話をかけてみたら「トラフィック」と言っているが、忘れられていた？（笑）

コースに連れて行ってもらい、PremaPowerTeamのPrincipalのAnegro、

チームマネージャーのReneやメカニック、エンジニアにお会いした。

イタリアのチームなので、イタリア語でご挨拶したら、日本語がかえってきた（笑）

その後は英会話でお願いした。まさかのロベルト・ストレイトにも会った。

彼は、ブラジル人ドライバーのコーチをしていた。

日本語も少しいけるので話しやすかった。

その晩は、ストレイトと、ブラジル人ドライバーと僕とで夕食を食べた。

ホテルに着いたのは、結局10時半くらい。外人さんは、いつも夜が長い。

スペインは夜になるのが早い。そして夜が明けるのは遅い。

前にスペインに来たのも2月で冬だから、冬に限ってかな。

12月14日

一日しっかり見学をして、コースのラインやチームのやり方などを学ぶこと。

これが今日の僕の課題。

バレンシアは、グランドスタンドからコース全体が見渡せるので、とてもいい。

混走しているルノーのエンジン音はカッコいい。

が、マシンはAbarthがカッコいいと思った。

1コーナーがけっこう高速コーナーで、カートとは違って四輪はロールするので難しいと

思った。それでも、やってやる！と思った。

カートレースでヨーロッパで戦ってきた選手が、案外多く参加していた。

皆かなりフォーミュラの練習をしていた。ルノーもアバルトにも両方いた。

午前の終わりくらいから僕のシート合せが開始された。

担当の方が発泡剤の分量を少し間違え、かなり膨らんだ（笑）

初めてだったので、どう作っていいか全く分からなかったが、

チームの方々の協力を得て、しっかり自分が納得いくまでリクエストを繰り返し、調節してもらった。いいシートが作れたと思う。

担当の方がUkyoとサイン、そして僕に「日本語でサインして」という。

（笹原右京）と書いたら、凄く喜んでくれた！

そして、この日のスポーツ走行の時間が終わったあと、ピットロードにてスタート練習をさせてもらえることになった。

数回エンストしたが、すぐにうまくできるようになった。

最後はBOXから出る練習もした。一発でできてホッとした（笑）

それから、チームのアバルト担当のエンジニアGiorgioと一緒にコースを歩いた。

細かく親切に教えてくれてとても分かりやすかった。しっかりメモもとった！！

1周4.051mのコースをエンジニアと1時間以上も歩いていたらあたりは真っ暗。

でもピットでは、まだ全開で作業中だった。

本当にプロフェッショナルなチームという印象。

夕食はチームの皆とチャイニーズフードを食べ寝た。

僕は時差ぼけが少々ある感じ。

12月15日

あまりに楽しみで早起きし過ぎてしまった（笑）早すぎてかなり暇だった。

夜明けが遅く、テレビも見たがブラウン管のテレビでチャンネル数が少なく、残念。

朝食の時間に、今回コーチをお願いしているイタリア人ドライバーさんにお会いした。

前の晩11時にバレンシアに着いたらしい。眠そうでかわいそうだった（笑）

朝食もしっかり食べて、チームの皆さんと一緒にコースへGO！

僕はすでにアドレナリン全開だった。今すぐに走りたい！！！！！！

コーチからバレンシアの攻略を教わった。

彼もわざわざ僕のためにパワーポイントでテキストを作ってきてくれた。

とても分かりやすかった。Grazie！

エンジニアはブレーキについて説明してくれた。ブレーキが一番難しいと思った。

### (Session 1) (50min)

BOXからスタート。うまく発進でき、ピットロードへ。

何もかもが新鮮で楽しかった。3周目の1コーナーで360°ターン（笑）

4周目は、アンダーで少しはみ出した。

そうこうするうちに車を動かすことがだんだんできるようになるのがとても嬉しかった。

8周走ってピットイン。BOXに入ってエンジニアからいくつかアドバイスを受けた。

その後、ロングランで17周近く走った。最初はTOPから11秒くらい遅かったが、

最後は8秒差まで縮めることができた。

これから徐々にプッシュして行って、タイムを縮めていきたい。

### (Session 2) (50min)

エンジニアやコーチに教わったことをしっかりやろう！

コースインし、最初よりは自分自身に余裕があるということを感じた。

マシンもかなり動かしている。最初はプッシュせず、ラインなど学んでいった。

ブレーキのリリースが少し難しく、自分なりにけっこういろいろ試した。

ピットインし、状態がいい方のタイヤに変更。

タイヤが良くなったので少しプッシュし、タイムは2秒半上がり36秒台へ。

36・9というギリギリなタイムだったが、徐々に良くなってきた。

他のマシンも少しかわせるようになった。これからまだ2セッションもあるので、

もっと学んでもっと速く走れるようにしていきたい！！

お昼はAngeroがトーストやパエリアを用意してくれた。

食べ物は常に豊富にあってとてもいい。僕専用のストロー付きの水筒も作ってもらった。

(Session 3) (50min)

午後になり周りの選手はだんだんタイムが落ちてきて、NEWタイヤを入れてもそれほど上

がらなかった選手もいた。僕はこのセッションでしっかり確認し、次のセッションの

NEWタイヤ投入で一発出したい！！

2セッション目のときに右の手のひらのまめなどがボロボロになっていた（笑）

ハンドルはそれほど重くは感じなかった。

とにかく、このセッションは犠牲にしてもタイムを出すよりも次のことを考えたい。

ライン、ブレーキの突っ込み、リリース、ハンドル、ギア、アクセル、

全ての動作の確認をした。あっという間にセッションが終わり、ベストはコンマ1秒縮め

ただけだったが、最後のセッションが楽しみである！！

ギアが少し入りにくいということ、プッシュアンダー気味ということなどをフィードバッ

クしたところチームは確認と調整をして準備してくれた。

(Last session) (50min)

集中した。



初めての走行での仕事の進め方やのびしろを評価をしてもらえた。

とても中身が濃く充実した一日だったと感じた。

フォーミュラーは風が当たらず、寒くなかった（爆）

自分はHANSを持っていなくて、チームに借りたのだが、角度が合わなかったのか

気づいたら鎖骨が痛かった。しかしそれも次へ活かせる勉強のひとつになったと思う。

フォーミュラーに進んでいくことは、カートレースをやっているときからの大きな目標の

ひとつだったので、一歩踏み出せたことがとても嬉しかった。

これからも周囲の方々のアドバイスをいただきながら、何とか先へ進んでいきたいです。

# この機会をいただけたことに

# 感謝しています。

# ありがとうございました！！